

第20回静岡コンテスト 規約

20回記念イベント：部門毎の過去のレコードを上回った局に、記念品を贈呈します。尚、過去のレコードはホームページ <http://www.jarl.com/shizuoka/>にて掲示してあります。

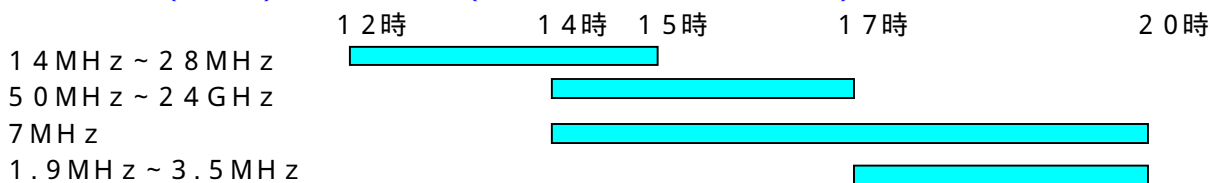
- 【目的】 静岡県と全国のアマチュア無線局の友好を深める。
- 【主催】 J A R L 静岡県支部 【後援】 (株)静岡新聞社・静岡放送(株)
- 【日時】 平成22年5月4日(火/祝) 12:00~20:00 [運用時間はバンド毎に、HFローバンド:17~20時(ただし7MHzは14~20時)、VHF/UHF/SHF:14~17時、HFハイバンド:12~15時]
- 【参加資格】 国内アマチュア局とSWL
- 【周波数】 1.9MHz~2.4GHz (WARCバンドを除く。10.1GHzと10.4GHzは同一バンドとして扱う)
- 【参加部門】 表1参照
- 【交信相手】 県内局:すべての国内アマチュア局 県外局:静岡県内運用局
- 【呼出方法】 電信...県内局:CQ TEST 県外局:CQ S TEST
電話...県内局県外局ともに、CQ 静岡コンテスト ただし、静岡県内運用局は、コールサインの前か後に『静岡県内局』を送出すること。
- 【コンテストナンバー】 県内局:RS(T)+市区町略符号(表2参照、電話の場合は市区町名でも可)
県外局:RS(T)+都府県支庁ナンバー
- 【QRP局】 QRP運用局(出力1W以下、430MHz以下)は自局のコールサインのあとにQRPを示す記号をつけて送送すること。 移動運用局:JX2XXX/2/QRP 常置場所運用局、固定局:JX2XXX/QRP
QRP局と交信した場合は、相手局のコールサインにQRPを明記すること(得点を2倍にしない場合は省略可)。
- 【得点】 完全な1交信につき、1.9MHz~430MHz:1点、1200MHz:3点、2400MHz:5点、5600MHz:10点、10GHz以上:20点。
430MHz以下のバンドでQRP局と交信した場合、その交信の得点を2倍(2点)にすることを認める。
QRP局は430MHz以下のバンドでの交信の得点を2倍(2点、QRP局同士は4点)にすることを認める。
SWLは、交信を受信に置き換える。ただし、県外のSWLにあつては県外局の送信の受信は無効とする。
同一局と同一バンドでの交信は、電信と電話それぞれ1交信ずつ有効とする。
- 【マルチプレイヤー】 県内局:静岡県内の異なる市区町の数+都府県支庁の数
県外局:静岡県内の異なる市区町の数
- 【総得点】 (各バンドで得た得点の和)×(各バンドで得たマルチの和) (部門内の全バンドでなくても参加可)
- 【賞】 参加部門(種目)ごとに、その局数に応じて賞状を贈る。
10局以下の場合:1位 11~20局:2位まで 21~30局:3位まで
31局以上:5位まで その他(特に顕著な場合、必要に応じて表彰する場合がある)
SASE(長形3号封筒に90円切手を貼ったもの)同封の方に参加賞および結果表を贈る。
- 【ドナー賞】 賞品のドナーを募集するので、ご協力をお願いします(ご協力いただける方は電子メールなどで連絡下さい)。ドナーが指定の要件に該当する方に、ドナーから提供された賞品を贈る。
- 【禁止事項】 クロスバンドによる交信
コンテスト中の運用場所の変更(コンテストナンバーが変わらない範囲での移動は認める)
同一バンドでの2波以上の同時発射およびシングルオペの2波以上の同時発射
J A R L 制定コンテスト周波数からの逸脱 複数部門への書類提出
コンテスト期間中に自らネット等に運用情報を書き込むこと その他J A R L 主催コンテストのルール違反
- 【注意事項】 マルチプレイヤーのログへの記入は、静岡県の市区町は略符号、都府県支庁は数字のこと。
1バンド101局以上交信の場合は、重複交信チェックリストを添付のこと(電子ログの場合は不要)。
サマリーシートおよびログシートは、A4版J A R L 様式または同形式に限る。
電子ログの場合は、J A R L 様式のサマリー・ログデータを作成し、添付ファイルとして提出する(本文に記載も可)。ファイル名称などの詳細は、ホームページ <http://www.jarl.com/shizuoka/> を参照。
電子メールで送付後3日以内に受付完了のメールが届かない場合は、問い合わせること。また、受付完了した場合には、後日HP上に一覧を掲載致します。
電子ログ提出で参加賞が必要な方は別途SASE(長形3号封筒に90円切手を貼ったもの)を送ること。
封筒の表に参加部門コードナンバーを記載すること。
シングルオペはコンテスト開催中、コンテストに関する諸作業(ログ記入、重複交信・マルチのチェック、設備操作など)をすべて独力でこなすこと。 その他J A R L コンテスト規約に準じる。
- 【シングルオペ FMハンディ機部門について】 今まであまりコンテストに参加したことがない方に楽しんでいただけるように、手軽なFMハンディ機で参加できるようにしたものです。初心者の方をはじめ、多くの局の参加をお待ちしております。
- 【書類提出締切】 平成22年5月26日(水) 消印有効 (電子ログの場合はタイムスタンプで判断)
- 【書類提出先】 郵送:〒426-8691 藤枝郵便局私書箱73号 岡本 吉史(JA2JNA)
電子ログ:ホームページ <http://www.jarl.com/shizuoka/> を参照。電子ログでの提出を推奨
- 【問合せ先】 電子メール: shizuoka@jarl.com [やむを得ない場合に限り] 054-644-5648(岡本)]
- 【その他】 市町村合併が予定どおりにならないこともあるので、<http://www.jarl.com/shizuoka/> または、提出先までSASE(4/20までに必着のこと)にて確認すること。

表1 参加部門と運用時間、コードナンバー

種目 (注1)	運用周波数と交信時間		部(県内外の別とモード)とコードナンバー						備考	
	バンド(周波数)	交信時間 (注2)	電信の部		電話の部		電信電話の部			
			県内局	県外局	県内局	県外局	県内局	県外局		
シングルオペ	オールバンド (注2)	1.4 ~ 2.8 MHz	12 ~ 15時	CMS	CMX	-	-	FMS	FMX	1.9 MHzは電信のみ 出力1W以下 1.9 MHzは電信のみ
		5.0 M ~ 2.4 GHz	14 ~ 17時							
		7 MHz	14 ~ 20時							
	HF QRP (注3)	1.4 ~ 2.8 MHz	12 ~ 15時	CHPS	CHPX	-	-	FHPS	FHPX	
		7 MHz	14 ~ 20時							
		1.9 ~ 3.5 MHz	17 ~ 20時							
	(シングルバンド)	1.9 MHz	17 ~ 20時	C19S	C19X	-	-	-	-	
		3.5 MHz	17 ~ 20時	C35S	C35X	-	-	F35S	F35X	
		7 MHz	14 ~ 20時	C7S	C7X	-	-	F7S	F7X	
		1.4 MHz	12 ~ 15時	C14S	C14X	-	-	F14S	F14X	
2.1 MHz		12 ~ 15時	C21S	C21X	-	-	F21S	F21X		
2.8 MHz		12 ~ 15時	C28S	C28X	-	-	F28S	F28X		
5.0 MHz		14 ~ 17時	C50S	C50X	-	-	F50S	F50X		
(マルチバンド)	1.200 MHz以上	14 ~ 17時	C1200S	C1200X	-	-	F1200S	F1200X	1.200 M ~ 2.4 GHz	
FMハンディ機	5.0 ~ 12.00 MHz	14 ~ 17時	-	-	HFS	HFX	-	-	資格限定しない(注4)	
SWL (注2)	1.4 ~ 2.8 MHz	12 ~ 15時	CSWLS	CSWLX	-	-	FSWLS	FSWLX		
	5.0 M ~ 2.4 GHz	14 ~ 17時								
	7 MHz	14 ~ 20時								
	1.9 ~ 3.5 MHz	17 ~ 20時								
マルチオペ	オールバンド (注2)	1.4 ~ 2.8 MHz	12 ~ 15時	CCS	CCX	-	-	FCS	FCX	1.9 MHzは電信のみ
		5.0 M ~ 2.4 GHz	14 ~ 17時							
		7 MHz	14 ~ 20時							
		1.9 ~ 3.5 MHz	17 ~ 20時							

注1. 部門(種目)の呼称は、県内局 電信の部 シングルオペ オールバンド のように、コードナンバーは CMS (半角表現) のようにすること。

注2. 交信時間はバンド(周波数)毎に規定の時間(3時間または6時間、下図参照)とする。



オールバンド、HF QRP部門のバンド毎の交信時間もこれにならう。SWLの受信時間もバンド毎に同様とする。

注3. QRP部門の送信出力は1W以下とする(低減出力を認める)。サマリーシートに出力、使用リグを明記すること。証拠の提示を求める場合があるので、出力を実測して記録を残す、写真を残すなどの処置をしておくこと。また、送信機系統図や終段の定格事項などを提示できるようにしておくこと。QRP運用局は自局のコールサインのあとにQRPを示す記号を、JX2XXX/2/QRP のようにつけて送出すること。QRP局との交信のログへの記載は、1Q、2Qなども認める(コールサイン受付の限定された電子ログがあるため)

注4. FMハンディ機部門は5.0 ~ 12.00 MHz (全バンドでなくても可)のFMで、参加者の資格は限定しない。出力はハンディ機本体の出力、アンテナは付属アンテナまたはそれに準ずるもの(同軸等で延長するものは不可)、電源は本体に内蔵できるタイプに限る(外部電源は不可、電池の交換は可)。

注5. シングルオペはコンテスト開催中、コンテストに関する諸作業(ログ記入、重複交信・マルチのチェック、設備操作など)を全て独力で行うこと。

電話やネットなどでコンテストに関する情報を入手した場合や、マイクコントロールなど第三者の助けを借りて運用した場合、同一周波数を複数の局で相互に譲り合いながら運用した場合などはマルチオペとみなす。ただし、コンテスト初心者に対する指導と認められる範囲の軽微なアドバイスは、これを認める。

表2 静岡県全市区町略符号表

区		市		町	
静岡市		沼津	NU	賀茂郡	
葵区	AO	熱海	AT	東伊豆	HI
駿河区	SG	三島	MI	河津	KZ
清水区	SI	富士宮	FM	南伊豆	MN
浜松市		伊東	IT	松崎	MZ
中区	NH	島田	SM	西伊豆	NI
南区	MM	磐田	IW	周智郡	
東区	HG	焼津	YZ	森	MR
浜北区	HK	富士	FJ	駿東郡	
西区	NK	掛川	KK	清水(町)	SZ
北区	KT	藤枝	FE	長泉	NM
天竜区	TN	御殿場	GB	小山	OY
		袋井	FR	田方郡	
		下田	SD	函南	KN
		裾野	SU	榛原郡	
		湖西	KS	吉田	YD
		伊豆	IZ	川根本	KH
		御前崎	OE		
		菊川	KI		
		伊豆の国	IK		
		牧之原	MH		

(参考) 都府県支庁ナンバー

注. 静岡コンテストでは、静岡(18)は使用しない。

宗谷	101	青森	02	栃木	15	富山	28	佐賀	41
留萌	102	岩手	03	群馬	16	福井	29	長崎	42
上川	103	秋田	04	山梨	17	石川	30	熊本	43
網走	104	山形	05	静岡	18	岡山	31	大分	44
空知	105	宮城	06	岐阜	19	島根	32	宮崎	45
石狩	106	福島	07	愛知	20	山口	33	鹿児島	46
根室	107	新潟	08	三重	21	鳥取	34	沖縄	47
後志	108	長野	09	京都	22	広島	35		
十勝	109	東京	10	滋賀	23	香川	36	小笠原	48
釧路	110	神奈川	11	奈良	24	徳島	37	沖ノ島	49
日高	111	千葉	12	大阪	25	愛媛	38	南島	50
胆振	112	埼玉	13	和歌山	26	高知	39		
檜山	113	茨城	14	兵庫	27	福岡	40		
渡島	114								

(参考) JARL主催コンテスト使用周波数帯

その他の周波数は郵政省告示の周波数の使用区別による。

周波数	電信	電話(AM/SSB)	電話(FM)
3.5MHz帯	3.510 ~ 3.525	3.530 ~ 3.565	-
7MHz帯	7.010 ~ 7.030	7.060 ~ 7.140	-
14MHz帯	14.050 ~ 14.080	14.250 ~ 14.300	-
21MHz帯	21.050 ~ 21.080	21.350 ~ 21.450	-
28MHz帯	28.050 ~ 28.080	28.600 ~ 28.850	29.200 ~ 29.300
50MHz帯	50.050 ~ 50.090	50.250 ~ 51.000	51.000 ~ 52.000
144MHz帯	144.050 ~ 144.090	144.250 ~ 144.500	144.750 ~ 145.600
430MHz帯	430.050 ~ 430.090	430.250 ~ 430.700	432.100 ~ 434.000

注. 7MHz帯電話(AM/SSB)の使用周波数帯が今回から変更になっております。ご注意ください。